

冬の空、散歩をしていたら、
饕餮尤魔にまた再会して、
以前と同じ宿に連れ込まれてしまう藍様
(前回夏に再会した世界の続き)

なあ、藍……いいだろ……？
一人で疼いてるんだろ……？
な……なんで私が今一人だつて
知ってるんだ……っ！

くくっ……あの女は春まで冬眠だろ？
お前の式は地霊殿にいる……
この程度の情報、私には筒抜けなんだよ……

ぐいっ

なあ、この宿覚えてるか？
お前と夏、乱れた場所だ……
あの時は燃えたよな？
なっ……お、お前が無理やり
私を連れ込んだんだろ……っ！

お前だって結局、
ノリノリだったじゃないか。
なあ、今寂しいんだろ……？
また私と……

や、やめろっ……前回だって、
紫様に妊娠をどうにかしてもらった、
どれだけ言い訳に苦労したか……っ！



ごちやごちやうるさいな
んんっ!? んんううう!
ひゃ、ひゃめっ……!!
らめっ……!!
んんんっ!

びく!

ちゅっ!!
♡







……セックスするぞ、
藍……？

……
……



ゆ、尤魔……
夏の時よりも、
大きい……っ！

びくっ！

ドキッ

くっくく……

お前と会う前に、
『独身で女を抱きたい』という
男たちの欲を吸収してきて、強化したのさ……
今度こそお前を孕ませるからな……！！

ド
ッ！！

ギ
ャッ！！





バチッ✓

バチッ✓

ちよ、ちよつと待つ……!!
んおほおおお!!?
太つとお……!!

びくっ!✓

おっ!✓

ビクッ!✓

グッ!

ッ!✓

おっ!✓

うおおっ……さすがに
デカすぎたか……
ゆっくり馴染ませて
いくからな、藍……!!

ほ……

おっ

おっ

ん

ん

ゆ、尤魔のチ●ポ、
欲求不満な身体に、
効くううう!!
も、もつと、もつと乱暴に
突いてほしい……!!

ん

ん

グチャッ

グチャッ

グチャッ

グチャッ



うおっ……そ、そろそろっ、で、出る……っ！
中に出すぞ、藍……っ！

ま、待つ!! ダ、ダメだっ!
中は、中はだめえっ……!!

ふりんそっか。じゃあもう
セックスやめにするけど、いいか?
もうパンパンじてやらないぞ?

ビクンっ

はっ

はっ

あ、あ、あ

なっ……!!

だ、だめっだめだめっ、
や、やめないでえろ!!
なか、中に出していい、出していいからあ……っ!!

くっ……ふっ……じゃあ最後に思いっきり突いてやるっ……!!

パン

パン

パン

パン

パン



バチバチッ

おー

おー

びしょ

びしょ

びしょ



だめだっおさまらないっ!!

ちよっ 待つ……
少し休ませっ……んぎざいい!

ズモッ!~

びくっ

ぐいっ!~

ズモッ!~

ぎゅっ!~

ま、待てと言ってるだろおツ!!
ま、待てっ!~
お、おまんこ溶けるううっ!!

け、獣のような容赦ない交尾……っ！
こ、こんな激しくされたらっ……
ち、畜生界にいたころを、思い出してしまっ……！！
だ、だめっ……ゆ、尤魔とは今日限りで……
あっ……だ……めっ……



びしょ

パンッ

パンッ

パンッ

パンッ

ドキュッ

ドキュッ

ビクッ

びるんっ

びるんっ

バチッ

バチッ

ハッ

ハッ





もじわっ...

もじわっ...

もじわっ...

ガッ

もじわっ...

ガッ

もじわっ...

もじわっ...

もじわっ...

もじわっ...

もじわっ...

ガッ

ガッ

びし

もじわっ...

びし

びし

































